

# インターンシップ募集

私たちがリブテックは、水害から皆さんの暮らしを守るために北海道の河川事業を専門に活動する建設コンサルタントです。

## 設計コンサルタントの魅力

皆さんの生活や産業を支える、道路・橋・ダム・港・河川・公園などの公共物は社会資本と呼ばれ、その社会資本を整備・維持するため国や地方自治体が行う事業を公共事業といいます。建設コンサルタントは、公共事業において計画・調査・設計を行い社会資本整備を支え、技術力によって社会に貢献できるやりがいのある仕事です。

### インターンシップ内容

コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>●半日体験コース 13:00~17:30</li> <li>●1日体験コース 9:30~16:30</li> <li>●5日間体験コース 9:30~16:30</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス・オフィス紹介・業務体験</li> <li>・意見交換会・総括</li> </ul>
業務体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3次元CADを使った作図</li> <li>・川の流れに関する計算</li> <li>・弊社設計の川の施設を見学</li> <li>・川に関わる防災学習</li> </ul>
実習地	当社内(札幌市)および現地見学(日帰り範囲)
実習期間	実習期間:9月まで ※土・日・祝日を除く
申し込み方法など詳細	弊社ホームページをご確認ください

### リブテックの業務内容

河川計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水計画:河川を整備するための流量や水位を計画</li> <li>河道計画:目標とする流量を安全に流せる河道の整備方針を計画</li> <li>河川水理解析:河道内の水位・流速・土砂堆積などの解析</li> <li>環境保全:魚類や生物などの環境調査や魚類に配慮した川づくりの計画立案、設計</li> </ul>
調査・点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>堤防点検:堤防が所要の機能を確保しているかを把握するための点検</li> <li>維持補修:堤防や構造物などの点検調査・評価検討・補修設計</li> </ul>
河川設計	堤防・護岸・樋門・水門・排水機場・揚水機場・魚道などの河川構造物を設計近年は3次元モデルを活用した3D図面の作成(ドローンを活用しています)堤防が決壊したことを想定した堤防の応急復旧のシミュレーション
防災・減災	水害時の状況を疑似体験できる装置を使った学習会(小学校や自治体など)を行い、防災意識向上に貢献

## リブテックのココが自慢!!

札幌勤務(転勤なし)	勤務先は、札幌のみで転勤はありません。多くの従業員が札幌にマイホームを持っています。
河川分野のプロフェッショナル	土木の建設コンサルタントと一言にいても、道路・河川・海岸・農業・上下水道・都市計画・土質など多くの分野があります。その中で、リブテックは河川に特化した河川屋のプロ集団です。世の中には土木分野全体の広く浅い知識も必要とされますが、1点集中で専門家としての知識も必要とされています。
創立50年の実績と信頼	1973年の会社創立以来、多くの業務実績を積み、発注者(開発局・北海道・札幌市)からの高い信頼を得ています。
過去10年で表彰多数	過去10年(平成25年~令和4年)で北海道開発局優良工事等表彰を21回受賞。(局長表彰:8回、部長表彰:12回、i-con奨励賞表彰:1回)
公共事業が主体	ほぼ100%が公共事業主体で、特に河川事業は地球温暖化への対策として求められる事業です。
従業員の年齢層が比較的均一に在籍	20代:7名、30代:6名、40代:13名、50代:3名、60代:3名(事業部員数:32名)
年齢の近い先輩も多く働きやすい環境	年齢が近い20代、30代の先輩職員が多く、わからないことを聞きやすい環境のため一人で悩むことなく仕事ができます。
他分野の学生も大歓迎	建設業界のデジタル化に伴いプログラミング知識を持った職員が大活躍。
働き方改革(在宅勤務や時差出勤)を推進	働き方改革として、在宅勤務(準備一時金5万円以内と在宅用のPCを支給)と時差出勤(通常は8時半出勤ですが、9時半出勤などに変更可能)を推進しています。
「人(社員)」を大切に社風	社員一人ひとりの意見を大切に、社員からの難しい要望に対しても「どうしたら出来るか」と「CHALLENGE・RIVTEC」の精神で前向きに挑戦する会社です。
出社時の服装	クールビズ・ウォームビズの流れを汲み、通年を通して比較的自由的な服装(ノーネクタイやポロシャツなど)です。発注者との打合せ時のみスーツを着用しています。

## リアルな声! 現役技術者たちが語る!!

もともと河川に興味があり、仕事についても河川に関わる仕事をしたいと思っていました。大学生になってからは、転勤がなく、仕事場が変わらない会社で仕事がしたいと思いコンサルを中心に就職活動を行いました。リブテックに入社することを決めた理由は、企業説明会で会社を見学した際、社内の雰囲気良かったことが一番の理由です。実際に入社してから、仕事以外の交流もあり社内の雰囲気はとてよよく仕事しやすい環境の会社だと思います。

**村上 勝輝**  
(技師)平成31年 北海学園大学卒

在学中(H28)北見市で出水があり、河川敷にある野球場や公園が川に沈んでいるのを目の当たりにして、「川は恐ろしい」という強烈な印象を受け、河川に係る仕事をしたいと思いました。また、大人数に埋もれず自分を出したかったので、河川に係る中小企業という条件ピッタリの「リブテック」に入社しました。入社後は河川施設の設計や防災業務に携わり、たまに当時の印象を思い出しながら仕事をしています。私が思う当社の強みは、社員の要望や新型コロナ対策がとても早かったので、所謂「フツ軽」なところだと思います。

**齋藤 将紀**  
(技術主任)平成30年 北見工業大学卒

国からの委託業務が主となるリブテックでは、自分の設計成果が道内各地に実際の構造物として残ることはもちろん、その後も河川の安心・安全を維持しながら多くの人命を守るという社会的にも重要な役割を担った仕事に従事できます。また、近年の建設業界ではデジタル化が進んでおり、プログラミングなど土木以外の知識や経験も十分活かすことが可能です。皆さんも私たちと一緒に災害に強い北海道づくりを目指しませんか?

**高橋 翔**  
(技術係長)平成24年 室蘭工業大学卒

